

事務事業名		職員厚生会実施事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	行政経営部	担当課	人事課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	給与厚生係	担当課長名	松本 仁	
	施策	3 分権時代を担う職員の育成と人事管理					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 適正な人事管理の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業			市単独事業			
	事業区分		任意的事業・義務的事業		義務的事業			義務的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	地方公務員法 佐野市職員厚生制度条例					
	実施方法		実施方法			直営					
	事業分類		事業分類			その他内部事務事業					
リーディングプロジェクト		リーディングプロジェクト			該当なし						
市長マニフェスト		市長マニフェスト			該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
職員の互助団体である佐野市職員厚生会に負担金を交付し、職員の保健に関する事業、元気回復に関する事業、厚生に必要な事業を実施する。			人間ドック費用(一部)助成、各課保養費助成、クラブ活動助成、長期勤続者等招待事業、共済給付事業等の実施 市職員厚生会負担金として各会計に計上								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
人間ドック助成を受けた職員数			人	534	569	580	580	580			
各課親睦活動に参加した職員数			人	826	952	965	965	965			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
職員(厚生会会員)			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
職員数(厚生会会員数)			人	935	1,058	1,042	1,042	1,042			
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
職員に対し厚生会の活動により各種福利厚生事業を実施し、職員の元気回復、職員間の連帯感の醸成を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
厚生会事業に参加した職員の延べ人数/職員数			%	96	95	98	98	98			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
適正な人事管理により、職員の能力が最大限発揮されている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
メンタル不全による長期病気休職者の割合			%	0.96	1.12	1.10	1.00	1.00			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	7,266	8,347	8,215	8,215	8,215			
	事業費計(A)	千円	7,266	8,347	8,215	8,215	8,215			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			厚生会負担金	7,266	厚生会負担金	8,347	厚生会負担金	8,215	厚生会負担金	8,215
	人件費	人	2	2	2	2	2			
のべ業務時間	時間	950	950	950	950	950				
人件費計(B)	千円	3,696	3,744	3,744	3,744	3,744				
トータルコスト(A)+(B)	千円	10,962	12,091	11,959	11,959	11,959				

事務事業名	職員厚生会実施事業	担当部	行政経営部	担当課	人事課	担当係	給与厚生係
-------	-----------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和58年に条例規則を制定以降。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	20年度に市負担金、個人掛金を減額。22年度に市負担金を減額。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	特になし。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	福利厚生の実施により職員の元気回復を図ることができ、住民サービスの向上に貢献することができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	地方公務員法42条の規定により、地方公共団体は、職員の保健、元気回復、その他の厚生事業を実施することになっており、市の負担金の支出の妥当性はある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象と意図は法の規定に沿って定めている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	現状の厚生事業内容で、職員の保健、元気回復の目的は果たしている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	職員数の減少と事業全体とのバランスを図る等、見直しを検討していく。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	駐車場運営事業について、平成24年度から受益者負担を導入をすることとした。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	地方公務員法42条の規定により、地方公共団体は、職員の保健、元気回復、その他の厚生事業を実施しなければならないため、廃止はできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			